

# 第16回宮城県作業療法学会

## 「暮らし」を支える作業療法の視点

学会長：大貫操 実行委員長：大内義隆

2014年10月25日（土）13時～  
10月26日（日）10時～

会場；東北保健医療専門学校

参加費：事前登録3000円、当日4000円、

非会員5000円、他職種2000円、学生500円

学会ホームページ <http://miyagiotconference.blogspot.jp/>

\* 学会プログラム集と振込用紙は8月下旬～9月上旬に発送予定です

### 学会スケジュール

#### 2014年10月25日(土)

13:00～開会式

13:15～15セミナー

14:25～一般演題

15:35～25セミナー

#### 2014年10月26日(日)

10:00～特別講演

「暮らし」を支える私たち

「暮らしている」講師：宇田薫氏

(おもと会クリニック安里訪問

リハビリテーションセンター)

13:00～ポスター発表

福祉機器展示

14:30～シンポジウム

「暮らしを支える

作業療法の視点」

### 実行委員からのメッセージ

\* 演題班 鈴木美帆  
今年演題がたくさん集まりました。日々実践のヒントを探しに、ぜひいらしてください。宮城のOTの底力を共有しましょう！！

\* プログラム班 大塚英樹  
第16回宮城県作業療法学会では、大貫学会長を始め、各実行委員において、「若い県士会員が興味を持って学会に参加し、その際は、異なる領域同士の作業療法士が交流し、お互いに他領域に関心を抱く契機となる学会」と捉え、企画・運営にあたっている。今学会プログラムの一角を占めるセミナーでは、前述した「契機となる学会」に向け、7つのテーマでのセミナーを企画した。昨今の宮城県作業療法士会は、領域・臨床経験・年代など、県士会員の構成が多岐に渡っているため、単発のテーマでなく、敢えて「広く浅く」複数のテーマを設定し、多くの会員に興味を持てる構成としたのがその理由である。いずれも学会テーマである「暮らしを支える」ために作業療法士が把握しておくべきテーマとなっており、会員各位においては、接する機会が少ない領域の新たな知識に触れる場となり、また、既知の知識の再確認の場となれば幸いである。

\* 演題受付抄録 佐々木俊二  
今学会は、これまでの学会と比較し一般演題も充実しています。口述4演題、ポスター12演題を発表する予定です。プログラム集には、発表概要を掲載する予定ですが、学会ホームページに演題の抄録を掲載いたします。学会前に抄録を見ていただき学会にご参加いただけます。プログラム発送は、9月上旬、抄録のホームページ掲載予定は10月上旬を予定しています。

\*福祉機器展示 齋藤宏樹  
福祉機器展テーマ『食事と排泄にまつわる福祉用具とおすすめ商品』  
今学会では2日目の午前11時より開催いたします。上記のテーマで10社の押し商品を多数展示してみなさまのお越しをお待ちしております。今年の展示は『ロボ・自動』とつく機器が多く展示される予定です。どのような機械であるか関心をもつていただくと共に、これをどう活かしていくことがこれからの未来なのか、皆様と共に考えていくことができればと思っております。各展示ブースには、昨年度発足した県士会福祉機器相談支援委員会のメンバーにも参加していただきます。この機会に皆さんの地域で相談に当たっていただけの方と面識をつくっていただき、明日からの業務にお役立てください。

詳細はホームページを見て下さい！